記者発表資料

平成２２年９月９日
新庄河川事務所

河川が氾濫した場合に想定される浸水区域と水深を公表
～　最上川水系丹生川、最上小国川　～

先般、最上川水系丹生川と最上小国川の国管理区間について洪水予報河川に追加指定したことから、水防法に基づき最上川水系丹生川と最上小国川についての浸水想定区域図を指定公表しました。

浸水想定区域図の指定公表により、地域防災計画に避難確保に関する必要事項が盛り込まれ、地域の皆様の迅速な避難行動等に役立てられます。

◇浸水想定区域の指定・公表

先般（平成22年8月30日）当該河川が洪水予報指定河川に追加指定されたことから、水防法に基づき浸水想定区域図を指定公表いたしました。浸水想定区域図が指定公表されたことにより、町の地域防災計画において浸水想定区域ごとに洪水予報等の伝達方法及び避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため必要な事項を定めることとなり、地域の皆様の避難行動等に役立てられます。

◇浸水想定区域図について

・丹生川の国管理区間：２．０km　（大石田町）

丹生川については、今回シミュレーションした結果、平成１４年８月２８日指定公表された最上川の浸水想定区域図に浸水エリアが含まれるため、最上川本川と同じ浸水想定区域図となっております。

・最上小国川の国管理区間：２．８km　（舟形町）

最上小国川については、最上川本川のシミュレーション結果と比較して浸水エリアが増えたため、今回単独での指定公表となります。

なお、同日付で公表する浸水想定区域と浸水深を大石田町長、舟形町長あて通知するとともに、東北地方整備局と新庄河川事務所で縦覧いたします。

＜発表記者会：新庄新聞放送記者会＞

問い合わせ先

新庄河川事務所（℡：0233-22-0251）

副所長(技術)　高橋　孝男　[内線204]

調査課長　安部　剛　[内線351]

最上川水系丹生川　浸水想定区域図

1 : 10,000

0　100　200　400　600　800　1000m

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別 ）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
- 市町村境界
- ＪＲ

1　説明文

（1） この浸水想定区域図は、最上川水系丹生川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

（2） この浸水想定区域等は指定時点の最上川及び丹生川の河道整備状況、白川ダム、寒河江ダム、大久保遊水地の洪水調節状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね１００年に１回程度起こる大雨が降ったことにより最上川中流及び丹生川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

（3） なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（4） この浸水想定区域図は丹生川においてシミュレーションにより求めた浸水想定区域と平成１４年８月２８日告示の最上川中流（本川）浸水想定区域を比較した結果、丹生川の浸水想定区域は本川の浸水想定区域に包含されているため、本川と同じ浸水想定区域を示しています。

2　基本事項等

（1）作成主体	国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所
（2）指定年月日	平成２２年９月９日
（3）告示番号	国土交通省東北地方整備局告示第１３３号
（4）指定の根拠法令	水防法（昭和２４年法律第１９３号）第１４条第１項
（5）対象となる洪水予報河川	最上川水系丹生川 （実施区間： 左岸　山形県北村山郡 大石田町大字岩ケ袋字川向六十二番地先から 最上川合流点まで、 右岸　同町同大字同字百四十三番地先から 最上川合流点まで、 昭和４０年３月２９日付け建設省告示第９０１号）
（6）指定の前提となる計画降雨	下野基準地点上流域の２日間総雨量１８０mm
（7）関係市町村	大石田町
（8）その他計算条件等	はん濫シミュレーションは、一定の破堤条件を設定し、はん濫計算は５０ｍメッシュで行い、浸水想定区域及び浸水深は５０ｍメッシュでの地盤高から推定したものです。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地理画像）を複製したものである。（承認番号　平 21 業複、第 778 号）

1　説明文

（１）この浸水想定区域図は、最上川水系最上小国川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。

（２）この浸水想定区域等は、指定時点の最上川及び最上小国川の河道整備状況、白川ダム、寒河江ダム、大久保遊水地の洪水調節状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね１００年に１回程度起こる大雨が降ったことにより最上川中流及び最上小国川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）作成主体	国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所
（２）指定年月日	平成２２年９月９日
（３）告示番号	国土交通省東北地方整備局告示第１３４号
（４）指定の根拠法令	水防法（昭和２４年法律第１９３号）第１４条第１項
（５）対象となる洪水予報河川	最上川水系最上小国川 （実施区間： 左岸　山形県最上郡舟形町富田字矢弓十四番の一地先から最上川合流点まで、 右岸　同町長者原字長者原千二百五十七番の三地先から最上川合流点まで 昭和４０年３月２９日付け建設省告示第９０１号）
（６）指定の前提となる計画降雨	流域全体に２４時間の総雨量２２２．５mmの降雨
（７）関係市町村	舟形町
（８）その他計算条件等	はん濫シミュレーションは、一定の破堤条件を設定し、はん濫計算は５０mメッシュで行い、浸水想定区域及び浸水深は５０mメッシュでの地盤高から推定したものです。

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
- 市町村境界

1:5,000

0　50　100　200　300　400　500　m

大蔵村

舟形町

最上川水系最上小国川　浸水想定区域図

基図：舟形町管内図1/5,000（平成9年12月修正）